

## 4 部位別 ステージ(UICC)別登録割合・治療内容

### 下記をご確認の上、ご覧ください

- 1.当院で、初回治療を行った症例を集計しています（経過観察も含む）
- 2.集計値が10未満の場合は、3区分（1-3、4-6、7-9）で表示しています

#### ① ステージ別登録割合

##### 〈治療前〉

- ・何らかの治療が行われる前までのステージの割合と件数を表しています

##### 〈術後〉

- ・手術で得られた情報を基に評価したステージの割合と件数を表しています

##### 〈総合〉

- ・手術を行った場合は術後ステージを、手術を行われない場合などは治療前ステージを使用し、総合ステージを算出し、その割合と件数を表しています

#### ② 治療前ステージ別 治療内容割合

- ・初診日からおよそ5ヶ月以内に行った治療で集計しています
- ・治療内容は、以下の13区分に分けて集計しています

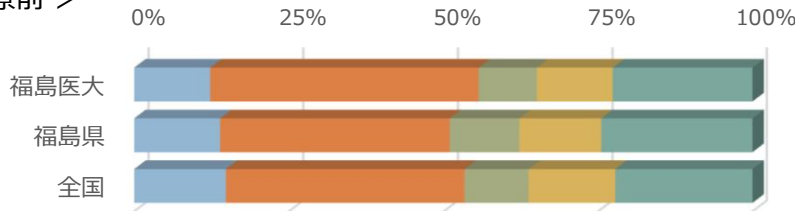
1. 手	手術のみ *体腔鏡治療も含む
2. 内	内視鏡的治療
3. 手+内	手術+内視鏡的治療
4. 放	放射線療法
5. 薬物療法	化学療法、内分泌療法など
6. 放+薬	放射線療法+薬物療法
7. 薬+他	薬物療法+その他の治療
8. 手/内+放	手術+放射線療法 もしくは 内視鏡的治療+放射線療法
9. 手/内+薬	手術+薬物療法 もしくは 内視鏡的治療+薬物療法
10. 手/内+他	手術+その他の治療 もしくは 内視鏡的治療+その他の治療
11. 手/内 +放+薬	手術+放射線療法+薬物療法 もしくは 内視鏡的治療+放射線療法+薬物療法
12. 他	免疫療法・BRM、肝動脈塞栓術、PEIT、温熱療法、レーザー等治療、その他の治療、上記以外の組合せ
13. 経過観察	治療なし

# (8) 食道癌 2022年

全国と比べ、総合ステージでⅣ期の割合が高い傾向となっています。治療は、0期（上皮内癌）では内視鏡的治療、Ⅰ期では内視鏡治療や手術、Ⅱ期からⅢ期では手術と薬物療法や放射線療法の併用、Ⅳ期では薬物療法と放射線療法を併用する割合が高い傾向になっています。

## ①ステージ別登録割合・登録数

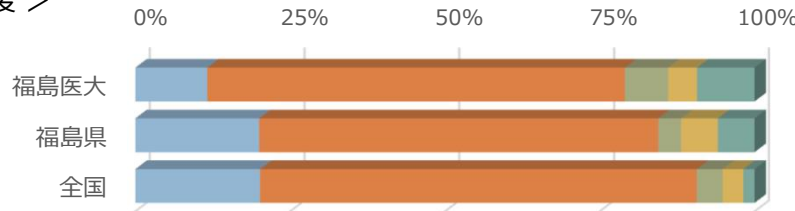
### < 治療前 >



福島医大病院

上皮内	I	II	III	IV
13	46	10	13	24

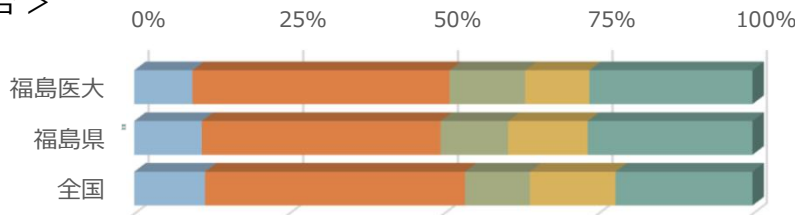
### < 術後 >



福島医大病院

上皮内	I	II	III	IV
(4-6)	29	(1-3)	(1-3)	(4-6)

### < 総合 >

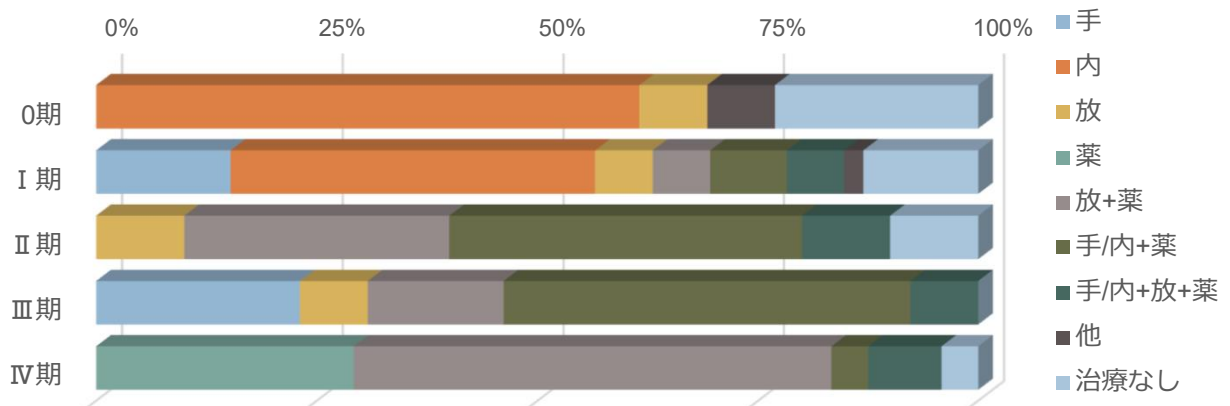


福島医大病院

上皮内	I	II	III	IV
10	44	13	11	28

■ 上皮内 ■ I ■ II ■ III ■ IV

## ②ステージ別登録割合・登録数



治療病期	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
上皮内		(7-9)		(1-3)								(1-3)	(1-3)
I	(7-9)	19		(1-3)		(1-3)			(4-6)		(1-3)	(1-3)	(4-6)
II				(1-3)		(1-3)			(4-6)		(1-3)		(1-3)
III	(1-3)			(1-3)		(1-3)			(4-6)		(1-3)		
IV					(7-9)	13			(1-3)		(1-3)		(1-3)